

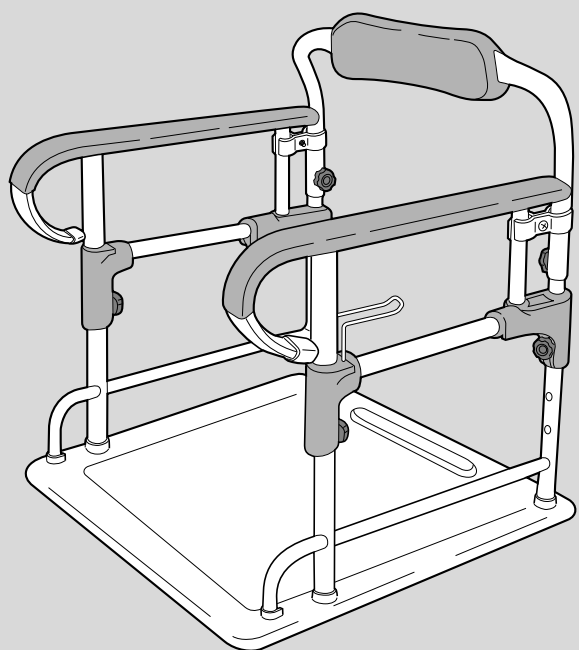


大切にしたい。
自立への気持ちと思ひやり。

ポータブルトイレ用フレーム ささえ 取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびはポータブルトイレ用フレーム
ささえをお求めいただきまして、
まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前
に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管し
てください。



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえと仕様	2
特長	3
組み立てかた	3~5
お手入れの方法	6

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

**注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

 **必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**

  **してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

**警告**

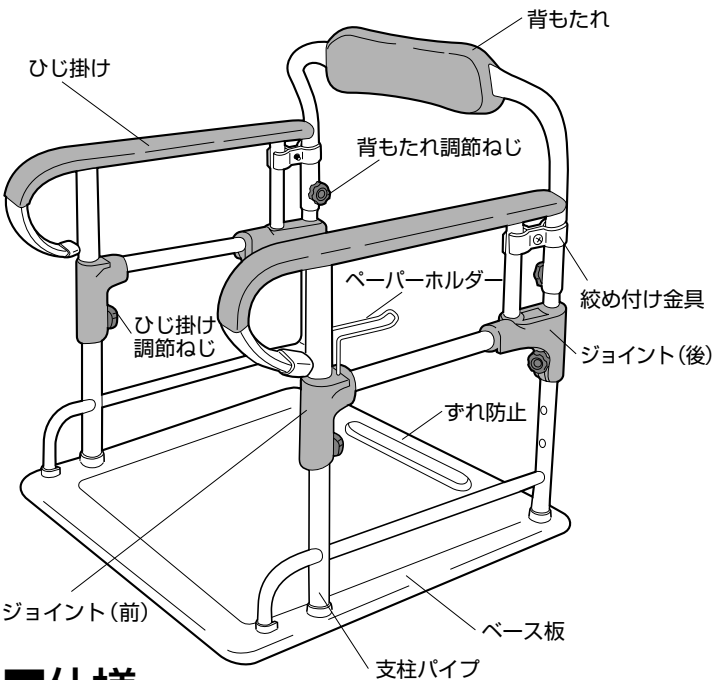
 改造はしないこと また、分解したり修理をしないこと 正常にはたらかず、けがの原因になります。	 ひじ掛けや背もたれの上に乗ったりぶら下がらないこと ひじ掛けや背もたれが破損し、けがの原因になります。
--	--

**注意**

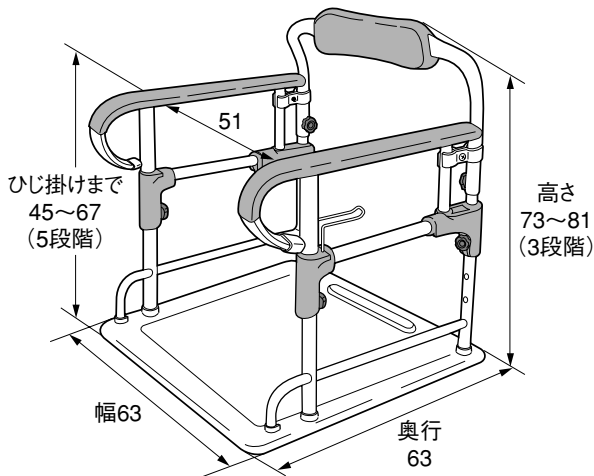
	使用前にネジのゆるみなど各部に異常がないか点検し、使用すること 転倒し、けがの原因になります。		直射日光を避けて、室内のみで使用すること 変色やソリの原因になります。
	ベース板の底についている「すべり止めゴム」が確実についているか確認して使用すること ベース板が動き、けがの原因になります。		人や物をのせたまま移動させないこと 故障やけがの原因になります。
	使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること 必ず平たんな場所で使うこと		体重が100kgを超える方は使用しないこと 本体が破損する恐れがあります。
	背もたれフレームをはずした状態で使用しないこと 転倒し、けがの原因になります。		お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと 塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと 塗装がはげたり、本体がさびたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。 支柱パイプの穴や背もたれフレームの穴から水を入れないこと 内部がさびて破損の原因になります。
	立ち座りのとき片側のひじ掛けだけに体重をかけないこと 転倒し、けがの原因になります。		
	子供、幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと		

各部のなまえと仕様

ポータブルトイレ用フレーム ささえ



■サイズ（単位cm）

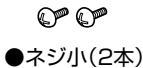
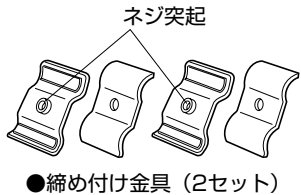
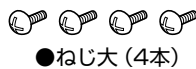
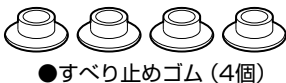
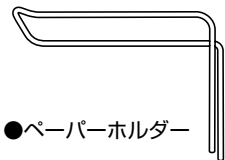
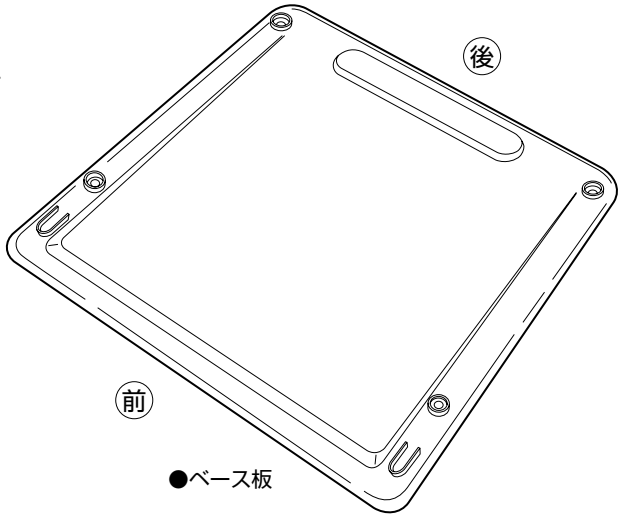
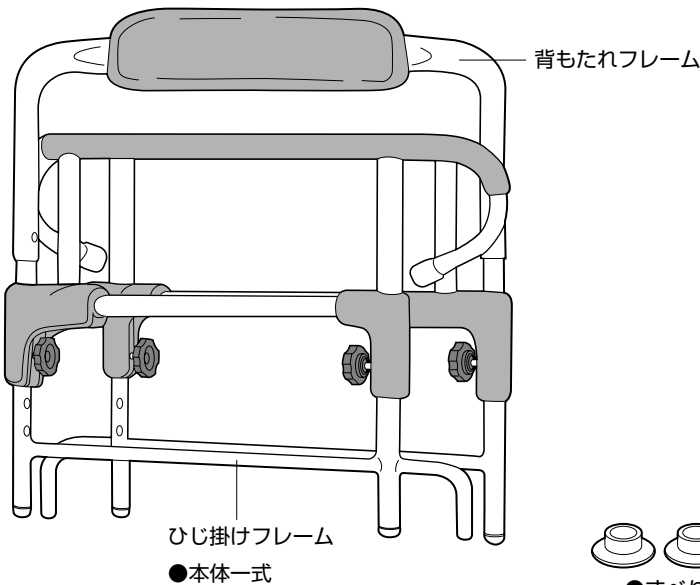


仕様

	部品名	材 質
構成部材	フレーム	スチール（メラミン樹脂塗装）
	ジョイント・背もたれ	ABS樹脂
	ベース板	ポリプロピレン
	ひじ掛けカバー	エラストマー
寸 法	外寸：幅63cm×奥行63cm×高さ73～81cm	
重 量	約8kg	

部材・付属品

※組み立てる前に部材・付属品がすべてそろっているか確認してください。
※組み立てにはプラスドライバーが必要です。



特長

- 背もたれの高さは、3段階に調節可能（73・77・81cm）で使われる方の体格や症状に合わせた設定が可能です。
- 背もたれの背あて面は、幅広く安定感があります。
- ひじ掛け高さは、5段階に調節可能（ベース板面から45・55・59・63・67cm）で使われる方の体格や症状に合わせた設定が可能です。（左右別々の高さが選べます）
- ベース板には後方へのずれ防止凸部や底部にすべり止めが付いているので安心してご使用できます。
- ベース板のトイレ設置スペースは、わずかに前方に傾き尿などが外にこぼれにくい自然な凹みがついています。
- ペーパーホルダーは左右どちらにも取り付け可能です。

組み立てかた

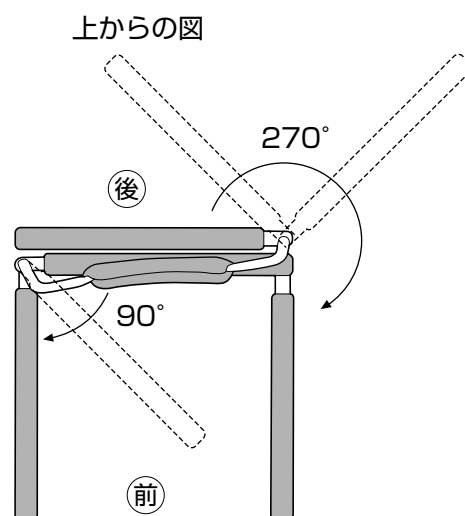
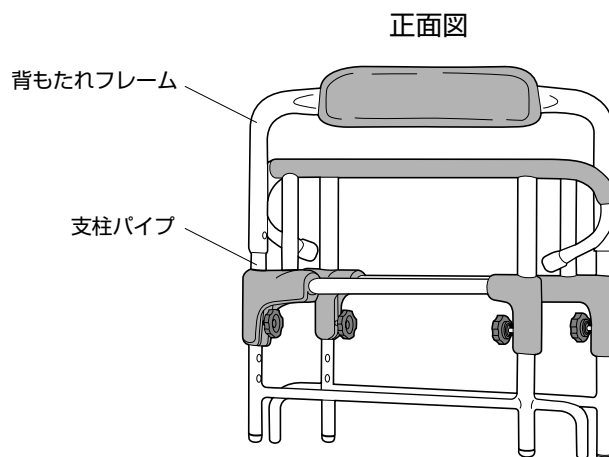
1 本体を組み立てる

①背もたれの後方に立って前方のひじ掛けを右に90°開きます。

②後方のひじ掛けを右に270°回転させてください。

③背もたれフレームを少し持ち上げて支柱パイプの内側に穴があることを確認してください。

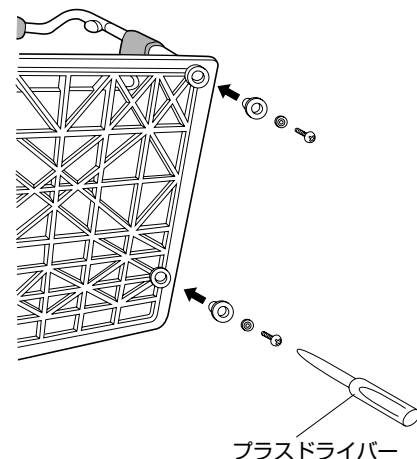
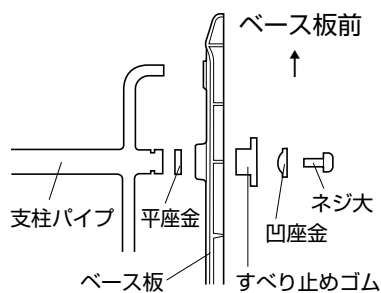
※方向を間違えますと支柱パイプの穴と背もたれフレームの穴が合わないため固定できません。



組み立てかた

2 背もたれ・ひじ掛けフレームを取り付ける

ベース板に背もたれ・ひじ掛けフレームを取りつけます。
すべり止めゴムと凹座金をネジ大でベース板、平座金を通して支柱パイプ（4ヶ所）へ締め付けます。

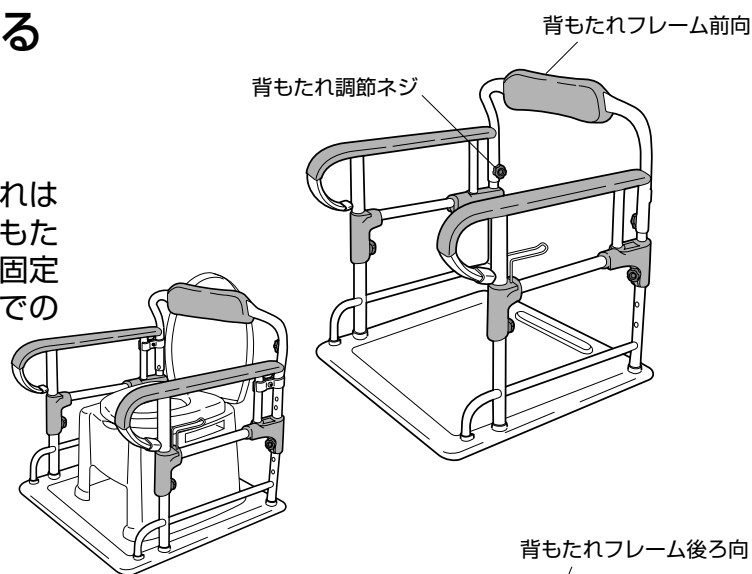


フレーム固定は確実にすること
フレームが外れ、けがの原因になります。

3 背もたれの前後を決めて固定する

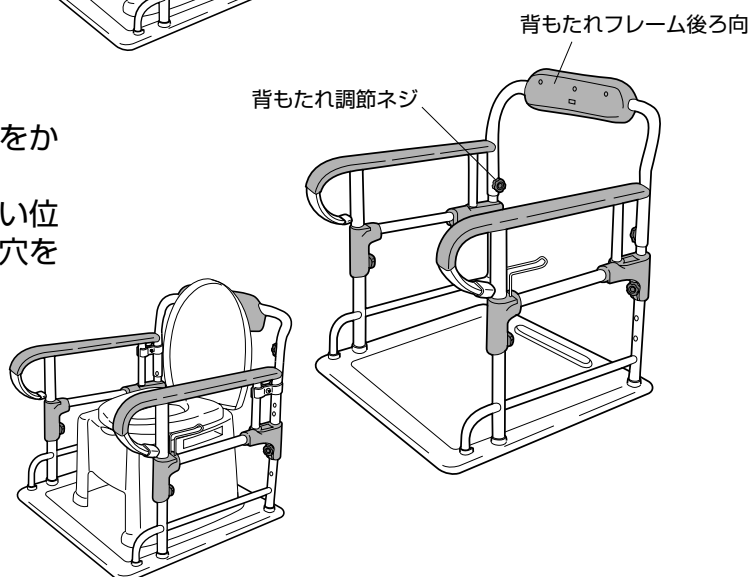
背もたれを使用する場合

（ポータブルトイレのふたは開閉できません。）
ご使用になる便器や体の状態に合わせて背もたれは3段階の高さが選べます。支柱パイプの穴と背もたれフレームの穴を合わせ、背もたれ調節ネジで固定します。（ベース板表面から背もたれ中央部までの高さ：約67・71・75cm）



背もたれを使用しない場合

（ポータブルトイレのふたは開閉できます。）
背もたれフレームを支柱からはずし前後の向きをかって差し込んでください。
便器のフタを開けた時にフタが前に倒れてこない位置を選び支柱パイプの穴と背もたれフレームの穴を合わせ、背もたれ調節ネジで固定します。



背もたれフレームは必ず左右同じ高さの穴に固定すること
フレームやネジが破損する原因になります。

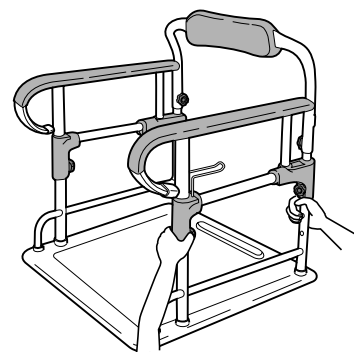
組み立てかた

4 ひじ掛けの高さを調節する

前後のひじ掛け調節ネジをはずします。
ひじ掛けフレームを上下スライドさせながら支柱パイプの適当な高さの穴を選び前後をひじかけ調節ネジで固定します。(ベース板天面からひじかけ天面の高さ：約45・55・59・63・67cmの5段階を選べます。左右別々の高さも選べます。)



ひじ掛けフレームは前後同じ高さの穴に固定すること



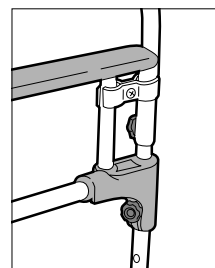
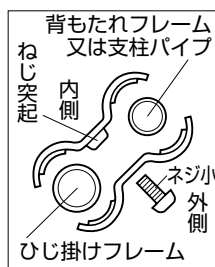
※ひじ掛けの高さ調節は前後のジョイント部をもって行ってください。

5 ひじ掛けフレームと支柱パイプを固定する

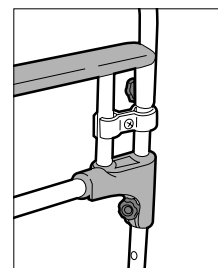
ひじ掛けフレームと支柱パイプを締め付け金具で固定します。まず締め付け金具にネジ突起が付いたものを内側に、ネジ突起の付いていないものを外側に当て、ひじ掛けフレームと背もたれフレーム又は支柱パイプをはさみ込み、ネジ小で外側から締め付けます。



フレームは左右とも必ず固定すること
転倒し、けがの原因になります。



ひじ掛けフレームと背もたれフレーム

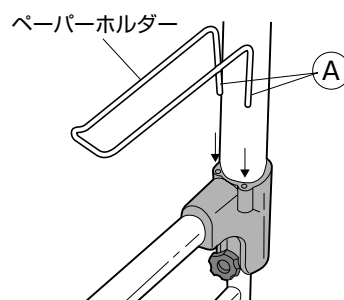


ひじ掛けフレームと支柱パイプ

6 ペーパーホルダーを取り付ける

ペーパーホルダーをジョイント部（前）の穴に差込みます。外れやすくなった場合は①の部分を外側へ開いてください。

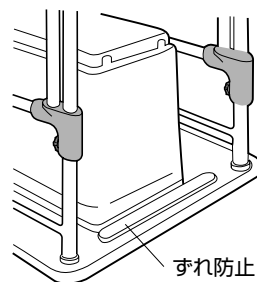
※ペーパーホルダーは、ひじ掛けフレームの左右どちらにでも取付けることができます。



7 ポータブルトイレを設置する

安定して、ご使用いただくために、ポータブルトイレをすれ防止に当たる位置まで奥に設置してください。※EXポータブルトイレは、すれ防止より後方へずらしてください。

※幅51.5、奥行54cm以下のポータブルトイレ対応



お手入れの方法

1 普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。

汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

2 ベース板の汚れがひどいときは

ベース板をフレームから外し、まる洗いでできます。汚れがとれたら、直射日光をさけてかげ干しか空ぶきしてください。



- ※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
- ※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
塗装がはげたり、本体がさびたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。
- ※支柱パイプの穴や背もたれフレームの穴から水を入れないこと
内部がさびて破損の原因になります。

